



b-ex SDGs Communication Book 2025



トップメッセージ	—————	2
SDGs 宣言と4つのbe	—————	3
マテリアリティ(重要課題)と成果目標	—————	5
マテリアリティ(重要課題)へのアクション	—————	7
SDGs 推進プロジェクトメンバーからのメッセージ	—————	24
SDGs 推進する上で課題が残った事とこれからの決意	—————	25
今後のSDGs アクション	—————	26
SDGs 成果目標一覧	—————	28

トップメッセージ

2025年、株式会社 b-ex は創業 50 周年を迎えました。

これまで私たちは「美」と「健康」を追求し、お客様に人生の豊かな感動を届けることを使命としてまいりました。

この節目にあたり、企業としての成長を振り返るとともに、未来への責任を一層強く意識しております。

現代社会では、環境問題や社会的課題が複雑化し、持続可能なビジネスの必要性が高まっています。

私たちはこれらの課題に正面から取り組むため、環境にやさしい製品開発や資源の循環利用を推進しています。

特に美容業界におけるサステナビリティの向上は、b-ex の使命であり、業界全体の未来を見据えた取り組みをリードしていきたいと考えております。

「人生に、新しい美の体験を。」というミッションのもと、私たちは今後も美容を通じて社会と環境に貢献し、持続可能な未来を築くために全力で取り組んでまいります。

そして皆様と共に、次の 50 年に向けても新たな挑戦を続けてまいります。

これからも株式会社 b-ex にご期待ください。



グループ CEO 福井 敏浩

SDGs 宣言と4つのbe

b-exでは2022年1月にSDGs宣言と共に、「b-exが目指す未来」に向かって大切にしたい事を4つのbe（なりたい理想像・be=美）で表現し、その実現に向けてマテリアリティと成果目標を発表しました。

b-ex SDGs 宣言

私たちは、ミッションである「人生に、新しい美の体験を。」のもと、その実現に向けて世の中に存在する様々な課題と向き合い、それを多くのパートナーとの事業活動を通じて解決していき、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。



SDGs 宣言と4つの be

b-ex がめざす4つのbe

未来に向かって大切にしたい事、4つのbe（なりたい理想像・be=美）を掛け合すことで、
「b-exが目指す未来」の形を表現しました。



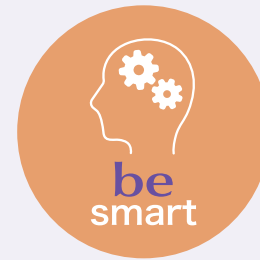
みんなにやさしく



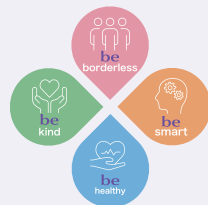
もっとボーダレスに



心も体もヘルシーに



まいにちをスマートに



b-ex

マテリアリティ(重要課題)と成果目標

「b-ex が目指す未来」に向かって、大切にしたい事を4つのbe (なりたい理想像・be = 美) で表現しました。

be kind みんなにやさしく



成果目標
事業活動による環境負荷低減

- ❖ 温室効果ガス排出量スコープ1.2 ※1
- ❖ 営業車EV化
- ❖ 年間製品廃棄量

※1 スコープ1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
スコープ2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
https://www.env.go.jp/earth/onfanka/supply_chain/gov/supply_chain.html



成果目標
資源の持続可能な利用

- ❖ FSC®認証紙使用率
- ❖ リサイクル・バイオマスプラスチック採用率



成果目標
製品による水質汚染の防止

- ❖ 生分解性の高い活性剤の採用率



成果目標
人材育成による働きがい創出

- ❖ MBA企業派遣数
- ❖ 外部研修受講講座数
- ❖ 人材育成に関する社員満足度



成果目標
安全な労働環境の確保・提供

- ❖ 職場環境に関する従業員満足度
- ❖ 労働災害の発生件数
- ❖ 平均残業時間
- ❖ 有給休暇取得率

be borderless もっとボーダレスに



成果目標
すべての人が活躍できる
職場づくり

- ❖ 育児休業復帰率
- ❖ 男性育児休業取得率
- ❖ 役員および管理職の女性の割合



成果目標
女性が活躍できる美容業界への
仕掛けづくり

- ❖ 女性美容師支援活動数



成果目標
製品による水質汚染の防止

- ❖ 障害者雇用率
- ❖ ダイバーシティスコア ※2

※2 ダイバーシティスコア [JobRainbow]
<https://jobrainbow.jp/magazine/what-is-diversity-score>

マテリアリティ(重要課題)と成果目標

「b-ex が目指す未来」に向かって、大切にしたい事を4つのbe (なりたい理想像・be = 美) で表現しました。

be healthy 心も体もヘルシーに



成果目標

こころとからだの健康の実現

- ❖ お客様(エンドユーザー)満足度
- ❖ エンドユーザーを巻き込んだ活動数



成果目標

グリーンマインドの浸透

- ❖ エンドユーザーのSDGs認知度
- ❖ 社会貢献活動実施回数
- ❖ 環境社会検定試験(eco検定)^{※3}

^{※3} 環境社会検定試験(eco検定)[®]
<https://www.tokyo-ecojournal.com/>

be smart まいにちをスマートに



成果目標

教育機会の提供による
美容業界のサステナビリティ向上

- ❖ b-ex paletteの登録者 ^{※4}
- ❖ 将来の成り手作り
- ❖ 美容免許保有者(休眠美容師)の活躍の場作り

^{※4} b-ex palette (美容師向け教育動画配信サービス)
<https://bexpalette.beautyexperience.com/>



成果目標

パートナーとの
サステナブル商品開発

- ❖ サステナブル基準(自社定義)を満たした製品開発
- ❖ サステナブルメーカーとのパートナーシップ数



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

プラスチック使用量の削減



プラスチック使用量の削減

環境負荷低減を目指して、ヘアカラーキャップを小型化しプラスチック使用量の削減を推進しました。

従来の 3.4 g から 1.58 g へと約 54% の削減を実現し、チューブタイプのすべてのカラー剤で切り替えを実施しております。



物流のモーダルシフト拡大

SDGs 推進の一環として製品の倉庫間転送の手段に鉄道輸送を導入し、採用路線も拡大しました。鉄道を利用する事で CO₂ 排出の抑制や気候変動への対応だけではなく、トラックドライバーの人手不足解消、労働時間軽減など働く人を含めた、みんなにやさしい物流に貢献しています。また、使用するコンテナも最大化することにより、物流効率化を改善しております。

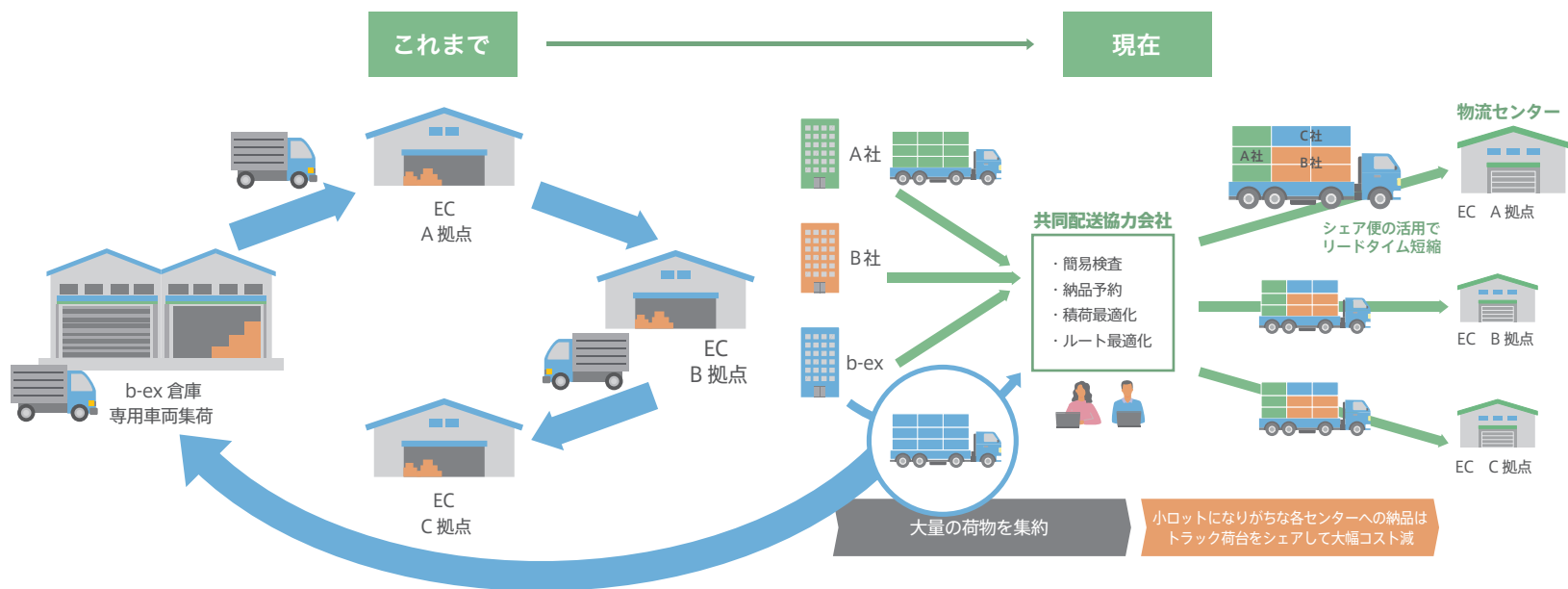


マテリアリティ(重要課題)へのアクション

事業活動による環境負荷低減

EC 物流の共同配送化

これまでは EC 物流各拠点への配送をおこなっていましたが、共同配送を活用することにより物流効率化を実現しました。この取り組みにより、トラック積載量を最大化し CO₂ 排出量削減にも貢献しております。





マテリアリティ(重要課題)へのアクション

事業活動による環境負荷低減



段積輸送によるトラック台数削減 環境配慮型パレットの採用

トラック庫内で段積を行うことで、貨物のデッドスペースを無くし物流効率を向上させ、使用するトラック台数を削減しました。

また製品保管用には再生 PP (95%) + バイオ PE (5%) の環境配慮型パレットを採用しました。このパレットは植物由来素材となり、CO₂ の排出削減効果が見込めます。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

資源の持続可能な利用



オーライト空容器回収

「自然から学び、自然を作る。地球上のものを等しく大切にする」という O'right (オーライト) ブランドの理念のもと、空容器の回収活動を 2022 年 11 月に開始。ご賛同いただいているサロン様や O'right 直営店に回収ボックスを設置し、多くのお客様にご協力いただきました。これまでに 100kg 近い空容器が集まり、資源の循環を促進しています。お客様と共に取り組むこの活動は、未来の環境負荷軽減に向けた大切な一歩です。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

資源の持続可能な利用



責任ある森林管理
のマーク

FSC® 認証紙の採用

製品を構成する紙器（化粧箱・内箱・外箱）につき、適切に管理された木材を原材料とした FSC 認証紙への採用・切り替えを推進しています。

進行する森林破壊の抑制及び持続可能な森林資源を次世代に残すため、製品に使用する紙器は 100%FSC 化を進めていきます。

- ・化粧箱 93%完了 (185 / 200)
- ・内箱 85%完了 (222 / 260)
- ・外箱 70%完了 (236 / 336)

※2024年10月24日時点



環境配慮容器の採用

地球環境に配慮し、資源の持続可能な利用を進めております。

その中で製品に使用しているプラスチック容器のバイオマスやリサイクル原料への切り替えを推進しております。

バイオマス/リサイクル PET 採用率 20% (22 / 122)

※2024年10月8日時点



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

誰も取り残さない平等な社会の実現



安全な労働環境の確保・提供

フレックスタイム制とリモートワーク継続 有給休暇の取得奨励

従業員一人ひとりのライフスタイルに合わせて働くことができるフレックスタイム制を設けており、リモートワークも継続しております。

また、有給休暇取得率も2030年までに70%を目指しており、2024年度は60%以上の取得率となっており、目標達成に向けて取り組んでいます。

その結果職場環境に関する従業員満足度調査では8割以上の従業員から好意的な評価をうけております。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

誰も取り残さない平等な社会の実現



b-ex Human Rights Policy



b-ex 人権方針策定

D&I アワード 2024 アドバンス認定獲得

D&I 検定の全社展開

人権を尊重する企業としての責任を果たしていく指針として、「b-ex 人権方針」を2024年5月に策定しました。ダイバーシティ&インクルージョンの体現に向けてはダイバーシティスコアを毎年算定し、D&I アワード 2024にて先進企業に与えられる称号であるアドバンス認定をいただきました。またダイバーシティ&インクルージョンに関する知識をより組織全体へと浸透させるため、日本初の検定制度であるD&I検定をいち早く導入し、全社員が3級を受検しました。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

誰も取り残さない平等な社会の実現

わたしたち b-ex が目指す未来に向かって
大切にしたいことを4つの be で表現しました

be kind みんなにやさしく
be borderless もっとボーダーレスに
be healthy 心も体もヘルシーに
be smart 毎日をスマートに

4be

b-ex はレインボーフェスタ 2024 を応援しています!



LGBTQ 相談窓口設置と人事制度構築 関西レインボーフェスタ 2024 への協賛

LGBTQ 全社研修のアンケートにおいて社員から一番要望が高かった LGBTQ に関する相談窓口を設置、併せて同性パートナーシップ制度を組み入れた人事制度も構築しました。

また「性の多様性」を尊重し合う関西最大級のイベントである「関西レインボーフェスタ 2024」にもはじめて協賛をしました。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

誰も取り残さない平等な社会の実現



3段階目(最高位)

えるぼし3段階目認定の継続 女性管理職比率向上と男性育休の取得奨励

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定を継続的に取得しております。

「えるぼし」認定は、女性活躍推進の取り組み実施状況が優良な企業が厚生労働大臣より認定を受けるもので、当社は最高位の3段階目認定を2022年度より取得しています。また女性管理職比率は*20%以上、男性の育休取得も*50%以上の取得率となっております。

これからも持続可能な成長に向けて、誰もが活躍できる職場づくりを推進していきます。

*2024年10月末時点(女性管理職比率算出期間)

*2022年1月～2024年10月末時点(男性の育休取得算出期間)



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

グリーンマインド浸透



世界生物多様性会議 (World Biodiversity Summit 2023) での講演

b-ex は 2023 年に World Climate Foundation (WCF) とパートナーシップを締結し、WCF が New York Climate Week のサイドイベントとして主催する世界生物多様性会議 (World Biodiversity Summit 2023) に日本の美容メーカーとして初めて参加しました。

そこで b-ex Group CEO 福井が基調講演に登壇し、日本の美容業界が抱える気候変動への課題や b-ex のサステナビリティへの取組み事例を発表しました。

参加者からは「b-ex が環境や持続可能性への取組みを会社のコアバリューにしている事が興味深かった。純粋に利益だけを追求するのではなく、未来を追求している姿勢が印象に残った。」という評価のコメントをいただきました。

(<https://www.worldbiodiversitysummit.org/>)



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

グリーンマインド浸透



東西リバークリーン（河川敷清掃活動）開催

2023年開催に続き、2024年も梅雨入りを目前に控えたタイミングで、本社近くの二子玉川の多摩川河川敷で社員参加のごみ拾い大作戦（通称：リバークリーン）を開催しました。また10月には初の試みとして、遂に本社を抜け出し、大阪支店から近い淀川河川敷でもリバークリーンを開催しました。

美容メーカーとして、河川敷に落ちているプラスチックごみなどの削減や日頃お世話になっている地域に貢献すると共に、テレワーク勤務制度の導入により低下した運動の機会や部署を超えた社員同士のコミュニケーションの機会提供にも取り組んでいます。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

グリーンマインド浸透



環境社会検定試験（e c o検定）[®]の社内公募・資格受験の継続

SDGsの達成を目指していく上で社会課題に対する正しい知識の習得が必要になります。そこでb-exでは環境社会検定試験（e c o検定）[®]を取得推奨資格として、2025年度までに社員取得率70%と目標を設定しました。その結果、2022年度のスタートから2024年度までの3年間で、社員取得率65%（社員142名中、取得者93名）と目標達成まであと一歩のところまで到達しました。

今後も目標達成に向けて取り組みを継続していきます。

※2024年12月9日時点

環境社会検定試験（e c o検定）[®]は東京商工会議所の登録商標です。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

社会貢献活動



NPO法人日本障害者ゴルフ協会への支援

心を動かすスポーツを多くの人に知ってもらいたい、勇気や感動を与えてくれるアスリート達を応援したい。そんな思いから、日本の障害者ゴルフ発展のために活動を行っている NPO 法人「日本障害者ゴルフ協会」に 20 年以上にわたって毎年支援を行なっています。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

美容業界のサステナビリティ向上



美容師に必要なスキルがいつでもどこでも
好きなだけ学べる動画教育サービス



基礎から応用まで
テクニックが学べる



いつでもどこでも学べて
時間が有効活用できる



セミナーでは味わえない
全席最前列の臨場感

b-ex palette (ビーエックスペレット) による 教育機会の提供

「b-ex palette」は、美容師向けのオンライン学習サービスを提供するサイトです。ライブセミナーやオンデマンド動画を通じて、カットやカラー、スタイリングなどの技術をいつでも、どこにいても学ぶことができます。

プロフェッショナル向けの内容が豊富で、最新のトレンドや技術を提供することで美容師のスキルアップをサポートします。

また著名な講師による指導や業界のニュースも提供され、すでに10,000人以上の『学び』に貢献しており、今後は美容業界の未来を担う美容学生に向けたコンテンツも拡充予定となります。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

美容業界のサステナビリティ向上



美容専門学校への授業サポート

未来の美容業界を担う人材育成の一助となるべく、2020年より美容専門学校の授業カリキュラムへの参加を強化してきました。そこでは教員の補佐として授業運営をサポートしたり、学生がこれから必要となる美容技術や知識を習得できるような支援をしました。具体的には、実技指導から最新の美容トレンドの紹介などを行いながら、美容専門学校と共に、よりプロフェッショナルな美容師の育成を目指しております。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

美容業界のサステナビリティ向上



一般財団法人 b-ex 財団の設立 美容学生に向けた奨学金事業の開始 公益財団法人に認定

美容業界の益々の維持・発展に貢献することを目的に、一般財団法人 b-ex 財団を設立し、美容学生に向けた給付型の奨学金事業を立ち上げました。美容の未来を担う人材に、経済的なサポートを通じて、業界のサステナビリティ向上に寄与したいと考えております。

また財団の設立趣旨や活動内容が認められ、2024年11月末に内閣府より公益財団法人に認定されました。

(<https://b-ex-foundation.or.jp>)



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

サステナブルな商品開発

製品開発の8つの約束

1 原料調達

生分解性の高いBOD
60%以上の界面活性剤を使用
(界面活性剤を配合している製品)

生物多様性

2 原料調達

植物由来原料を
50%以上使用

持続可能な原料使用

3 原料調達

RSPO認証の
パーム油採用

持続可能な原料使用

4 原料調達

フェアトレード認証の
原料採用

持続可能なサプライチェーン

5 原料調達

アップサイクル原料
(廃棄予定の原料を利用)

サーキュラーエコノミー (循環型経済)

6 材料調達

化粧箱/内箱/外箱などの
紙資源にFSC®認証紙を採用

持続可能な原料使用

7 材料調達

容器梱包資材に
リサイクル/バイオマスを採用

脱炭素/CO2削減

8 材料調達

基準品と比較し
本体容器梱包重量の10%削減

脱炭素/CO2削減

サステナビリティ開発基準 (be-kind 8) の運用

「環境に配慮した製品開発の8つの約束」をサステナビリティ開発基準とし、6つ以上の基準をクリアで「b-ex エコ」製品と認定。2024年9月に発売した改良復刻ハニーチェダメージリペアヘアマスクYRが当基準を満たした最初の製品となりました。

一方で運用し始めて2年が経過し、いくつかの課題もみえてきたところもあり、例えばプラスチック容器の重量削減(使用料削減)において、重量は強度と直結するため、ユーザーが使用する際に破損してしまえば製品としての品質が確保できない状況となります。こういった状況を踏まえ、容器メーカーなどと連携し、重量を削減しながらも強度が確保できるような素材の選定などを進めていきます。

サステナブルな製品開発はたくさんの課題をクリアしなければ実現できませんが、地道にできるところから1つ1つ積み上げていきたいと思っています。



SCM 部 伊藤光司

これからのサプライチェーンマネジメントの“あるべき姿”を考えて

SCM という部署は、製品の調達・生産・物流まで、美容メーカーとしての大きな役割を果たす責任ある部署だと思っております。日々の業務の中でも、無駄な製造や在庫・物流が無いように意識を持って、より良い製品をお客様へお届けできるように努めております。また、日々環境の変化が進む昨今、サプライチェーンもサステナブルが求められております。地球環境への配慮を考えた包材など、コストバランスを考えながら導入を行っております。会社として FY2030 までの SDGs 指標の目標達成のため、様々な取り組みへのチャレンジを継続していくことが、サステナブルサプライチェーンにつながっていくと考えております。

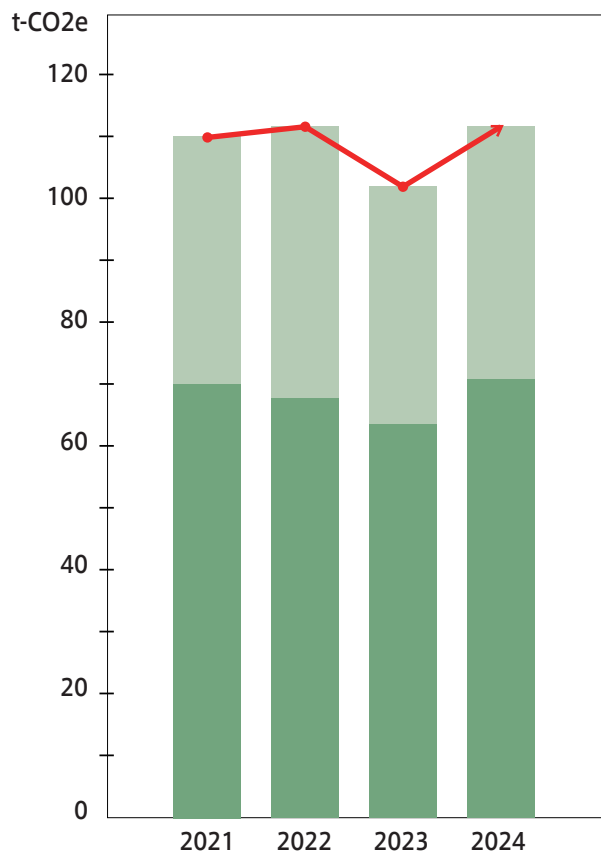
社員一人ひとりが「自分ゴト」として SDGs に共感できるように

製品の研究開発を行う部署で、品質保証や薬事業務を担当する傍ら、SDGs 推進プロジェクトにて社会貢献活動を担当しております。社員一人ひとりが SDGs の重要性を理解し、日常業務に活かせるよう、エコ検定の取得や社内報を活用した啓蒙活動を進めてまいりました。さらに、一昨年から海岸や河川敷での清掃活動を定期的に行い、地域社会への貢献も図ると共に、リモートワークの普及により低下した社内コミュニケーションの活性化にも寄与していると考えております。これからは地道な活動ではありますが、プラスチック製品を開発する美容メーカーとして、海洋プラスチック問題に真摯に向き合うことで、持続可能な未来の実現に微力ながらも貢献していければと思います。



R&D 部 藤井美巴

SDGs 推進する上で課題が残った事とこれからの決意



私たちは 2021 年度より、事業活動による直接的な温室効果ガス排出量を削減するという目標に対して、事業活動を縮小することなく環境負荷の低減を図るため、最新の技術や効率的なプロセスの導入を積極的に進めてまいりました。

しかし 2024 年度においては、事業活動の活発化に伴い、2023 年度に比べて温室効果ガス排出量が増加してしまい、当初想定していた削減目標とは相反する結果となってしまいました。

今後は、持続可能な成長と温室効果ガス排出量削減の両立を目指し、さらなる技術革新と効率性の向上に取り組むとともに、長期的な視点で環境目標の達成に向けた戦略を策定して参ります。

※1 スコープ 1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

スコープ 2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/supply_chain.html





資源の持続可能な利用

美容業界サーキュラーエコノミー（ヘアカラーアルミチューブ回収リサイクル）

b-ex が販売するヘアカラーブランド、スロウやキラテラの使用済みアルミチューブをサロン様から回収し、その資源をリサイクルする取り組みを準備しております。回収されたアルミ資源は専門業者によって再生され、新たな製品へと生まれ変わります。この取り組みによって不燃ゴミの削減ができ、環境負荷の低減にも繋がります。



オーライト回収空容器からのリサイクル

これまでに実施してきた回収活動を通じて、多くの空容器が集まりました。今後もこの活動を継続し、さらに資源の循環を推進していきます。集まった容器はリサイクルされ、新たな形で再利用される予定です。具体的には、リサイクル素材を使ってノベルティを制作し、お客様にプレゼントすることを検討しています。また、将来的にはお客様と共に空容器から新しいものを作り出すワークショップの開催も視野に入れています。



美容業界のサステナビリティ向上

b-ex 財団による休眠美容師支援

公益財団法人 b-ex 財団は、美容学生に向けた奨学金事業に続く新たな事業として、全国で 70 万人以上いると推定されている休眠美容師の方々への支援を構想しております。

具体的には復職を希望されている方への美容技術のスキルアップや再就職のサポートを提供し、人材不足に悩む美容業界の持続的な発展に寄与したいと考えております。

SDGs 成果目標一覧

カテゴリー	分類	取り組みテーマ	重要課題	成果指標	目標数値	期間	
be kind (みんなにやさしく)	環境	事業活動による環境負荷低減	サプライチェーン全体におけるCO2削減	温室効果ガス排出量 スコープ1,2	実質0を目指す	FY30	
			再生可能エネルギーの使用によるCO2排出抑制	温室効果ガス排出量 スコープ3 カテゴリー4・9 (サステナブルロジスティクスの実現)	①段積み輸送によるトラック台数削減 年間24台 継続 ②モーダルシフトによるCO2排出量80%削減 継続 ③EC物流での共同便採用 共同配送率100% FY25 ④多頻度小口化解消へ向けた活動数 代理店と共同3件 FY25	左記	
			廃棄物削減によるCO2排出抑制	営業車EV化	営業車EV率100%	FY30	
		資源の持続可能な利用	包装・紙によるCO2排出	年間製品廃棄量	実質0を目指す	FY30	
			容器・プラごみによるCO2排出	FSC認証紙採用率	採用率100%	FY30	
			製品による水質汚染の防止	リサイクル・バイオマスプラスチック採用率	採用率100%	FY30	
	人材育成	人材育成による動きが創出	人材育成による動きが創出	生分解性の高い活性剤の採用率	FY24以降のヘアケア新製品で採用率100%	左記	
				MBA企業派遣数	毎年1名派遣 ※現在累計11名MBA取得	継続	
				外部研修受講講座数	FY22に制度設計 →完了	左記	
	ガバナンス	安全な労働環境の確保・提供	法令遵守・徹底による安全な労働環境の確保・提供	人材育成に関する社員満足度	上記制度構築を終え次審、調査実施をする (FY24以降継続)	左記	
				職場環境に関する従業員満足度	80%以上継続 (社員職場満足度調査の職場環境項目における好意的な回答) (いえる、どちらかといえばいえる)	左記	
				労働災害の発生件数	0件	継続	
be borderless (もっとボーダレスに)	ジェンダー	すべての人が活躍できる職場づくり	女性活躍支援による社内のジェンダー平等	育児休業復帰率 (%)	現状維持 (100%)	継続	
			男性育児休業取得率 (%)	目標50% (政府目標)	FY25		
			性別による賃金格差	役員および管理職の女性の割合 (%)	20% (改正女性活躍推進法の行動計画)	FY25	
		女性が活躍できる美容業界への仕掛けづくり	女性活躍支援による美容業界のジェンダー平等	女性美容師支援活動数	①女性美容師の起用回数 年10回以上継続 ②女性美容師幹部育成セミナーの実施 FY24に初開催	左記	
			だれも取り残さない平等な社会の実現	マイノリティへの差別の防止	障害者雇用率 (%)	2.7%以上	FY27
			ダイバーシティスコア	60点以上 (アドバンス認定)	FY25		
be healthy (心も体もヘルシーに)	心と体の健康	ここからだの健康の実現	製品とサービスを結びた心と体の健康	お客様 (エンドユーザー) 満足度	好意的認知度60%	FY25	
			製品を通じた自己肯定感の向上	エンドユーザーを巻き込んだ活動数	D2Cイベント (リアル・オンライン) 年20回以上目指す	FY25	
		グリーンマインド浸透	グリーン革命による消費者のサステナブル意識の向上	エンドユーザーのSDGs認知度	①サロン・店舗での使用済み容器回収 300kg FY25 ②エンドユーザーのb-ex SDGs推進に対する認知度80% FY30	左記	
			社会貢献活動実施回数	社会貢献活動 年2回参加 (ゴミ拾い、ビーチクリーン等)	継続		
			環境社会検定試験 (e c o 検定) ※取得率	社員取得率70%	FY25		
be smart (まいにちをスマートに)	外部への教育	美容業界のサステナビリティ向上	デジタル化による教育機会提供	b-ex paletteの登録者	11,000人	FY25	
			美容業界の雇用促進	将来の成り手作り 美容免許保有者 (休職美容師) の活躍の場作り	①全国の美容専門学校へのサポート 40校 FY30 ②bexpalette学生向け教育セミナー 年2回以上 継続 ③休職美容師向けセミナー FY24に初開催	左記	
	パートナーシップ	パートナーとのサステナブル商品開発	サステナブル商品の開発	サステナブル開発基準 (自社定義) を満たした新商品数	FY24以降の新製品で採用率100%	左記	
			協業による環境配慮と利便性の両立	サステナブルメーカーとのパートナーシップ数	共同開発3件	FY30	
			グリーンサミット2.0	年1回開催	左記		



株式会社 b-ex
東京都世田谷区用賀4-10-5
お問合せ窓口 03(6757)7767

b-ex SDGs方針
詳しくはコチラ!



b-ex SDGs

検索

<https://www.b-ex.inc/company/sdgs/>